

# 環境保全報告書

## 1. 当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

### ① 地球温暖化対策【温室効果ガスの排出抑制】

CO<sub>2</sub>について、燃料、熱、電力の省エネルギーなどを通じて、排出量の削減、排出原単位の低減に努めています。

当事業所では、当初の取組みとしてCO<sub>2</sub>排出量を「2011年に2007年比4%削減」を目標に取り組み、2011年にはこの目標を達成しました。

この成果は当事業所の日頃の事業活動について調査をし、その中でエネルギーを多く使用する空調設備を蒸気吸収式冷凍機から、より効率的な電気を使うターボ冷却機に変更する事で大幅なCO<sub>2</sub>削減を企図し、空調機器を更新する事でCO<sub>2</sub>排出量の削減を達成しました。また照明設備を低消費電力のLEDに変更するなど、事業所内の省電力化も継続して行っております。

2022（令和4年）年度は前年度と比べてCO<sub>2</sub>排出量が20.2%も減少できました。この要因としては空調熱源の使用エネルギーを効率の良い電気を使うことで達成できました。この知見は昨年度に行った施設の空調熱源として電気とガスを用いる方法でどちらか効率が良いかを調査したところ効率的には電気を用いた方がガスを用いる運用より効率が良いことがわかり、ガスを用いる運用は主にバックアップ用途に限定することで効率的な施設運用を行うこととなりました。また2022年度は使用する電気の供給事業者が変わり、前年度より電気によるCO<sub>2</sub>排出係数は低い値になりましたので、これもCO<sub>2</sub>排出量の削減につながりました。

なお、2022年度には神戸地区西エリアの発生・再生研究棟DのGHP空調機の更新を行いました。これは経年劣化による空調設備の効率悪化の改善回復効果を企図したものに なります。このように健全な設備運用を心がけて無駄のないエネルギー消費を常に意識しながら省エネに向けての対策をたゆまなく行っています。

次年度についても引き続き設備の健全運用と計画的な保守更新を進めて、エネルギー使用量の削減に努めます。

また、廃棄物の削減と再資源化に努める点についてはフロンを含む機器の適正な廃棄を行い、フロン類の漏洩防止に務めました。

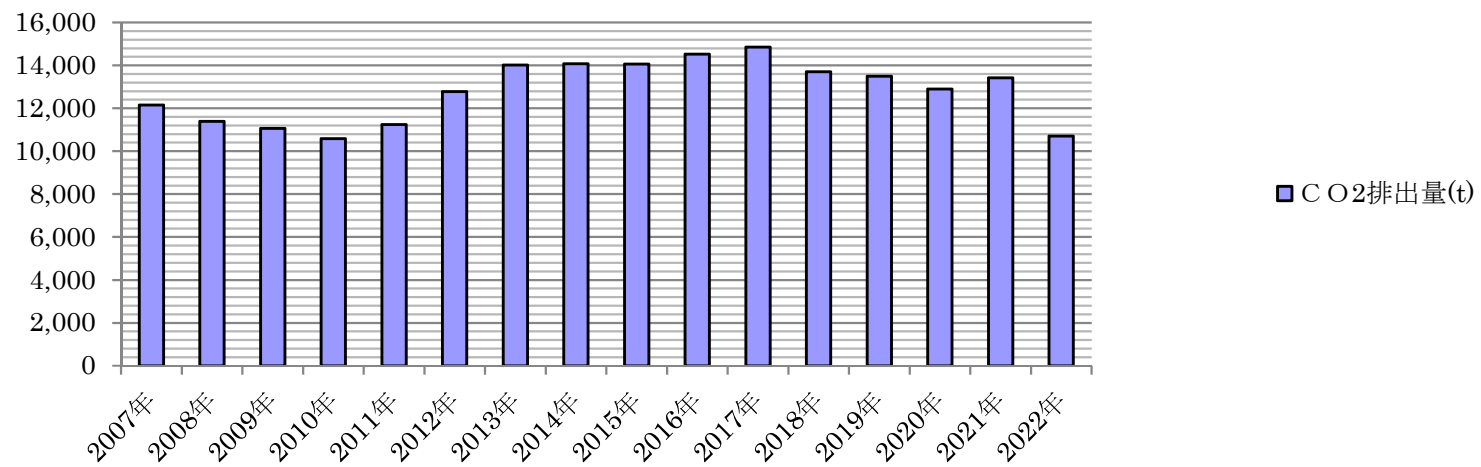
### 神戸事業所CO2排出状況

項目	2007年 基準年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
都市ガス (t-CO2)	5,005	4,727	4,720	4,774	4,312	4,081	4,148	3,935	4,252	5,111
電気 (t-CO2)	4,505	4,368	4,348	3,662	4,553	6,458	7,686	8,019	7,912	7,636
熱 (t-CO2)	2,647	2,299	1,993	2,156	2,378	2,236	2,188	2,124	1,896	1,780
合計 (t-CO2)	12,157	11,394	11,063	10,592	11,243	12,775	14,022	14,078	14,060	14,527
排出原単位	0.358	0.336	0.326	0.285	0.303	0.344	0.377	0.358	0.308	0.318

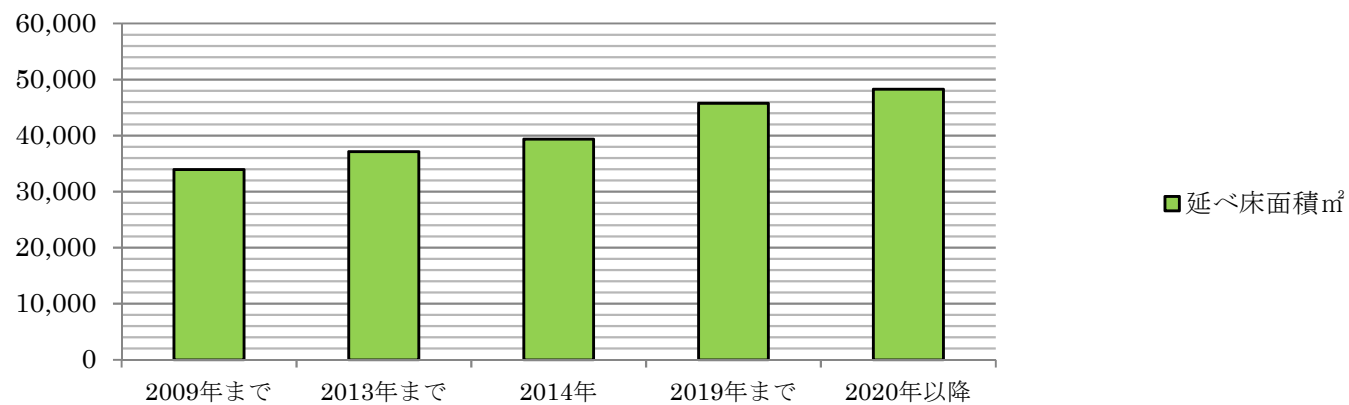
項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
都市ガス (t-CO2)	5,344	5,249	5,496	5,092	4,813	3,990				
電気 (t-CO2)	7,846	6,760	6,202	6,151	6,702	4,658				
熱 (t-CO2)	1,662	1,695	1,790	1,650	1,906	2,059				
合計 (t-CO2)	14,852	13,703	13,488	12,893	13,421	10,707				
排出原単位	0.324	0.299	0.294	0.267	0.278	0.222				

排出原単位=CO2排出量 (t) / 総延べ床面積 (㎡)

CO2排出量の推移



神戸事業所の延べ床面積の推移



神戸事業所総延べ床面積の推移

33,935 m<sup>2</sup> (2007年から2009年)

37,155 m<sup>2</sup> (2010年から新研究棟完成による増床)

39,368 m<sup>2</sup> (2014年6月から賃貸面積2,213 m<sup>2</sup>増床)

45,790 m<sup>2</sup> (2015年4月より融合連携イノベーション推進棟(延べ床面積8,554 m<sup>2</sup>)完成による増床)

48,256 m<sup>2</sup> (2020年から総延べ床面積の精査を行い修正)

② 省エネルギーの推進

都市ガス、電力の使用、熱の使用について、総量削減を実施しており 2007 年度(基準年)に比較して順次削減を達成してきましたが、2012 年度から都市ガス総量、電力総量とも増加しており、これは新研究棟の完成など研究施設拡張による業務拡大が要因です。2016 年度から燃料総量（都市ガス）の使用量の増加が目立ちますが、これは施設の空調熱源として電気を使用するターボ冷凍機の使用を控え、代わりに都市ガスを使用するコージェネレーションシステムを積極的に使用したことが原因です。この運用方法により電気使用量を大幅に抑える事で電気需要平準化に対応しました。また環境負荷低減目的として引き続き空調設備の更新工事など計画的に行い、エネルギー使用量を抑えるための適正な運用を心掛けています。

エネルギー使用量・原単位

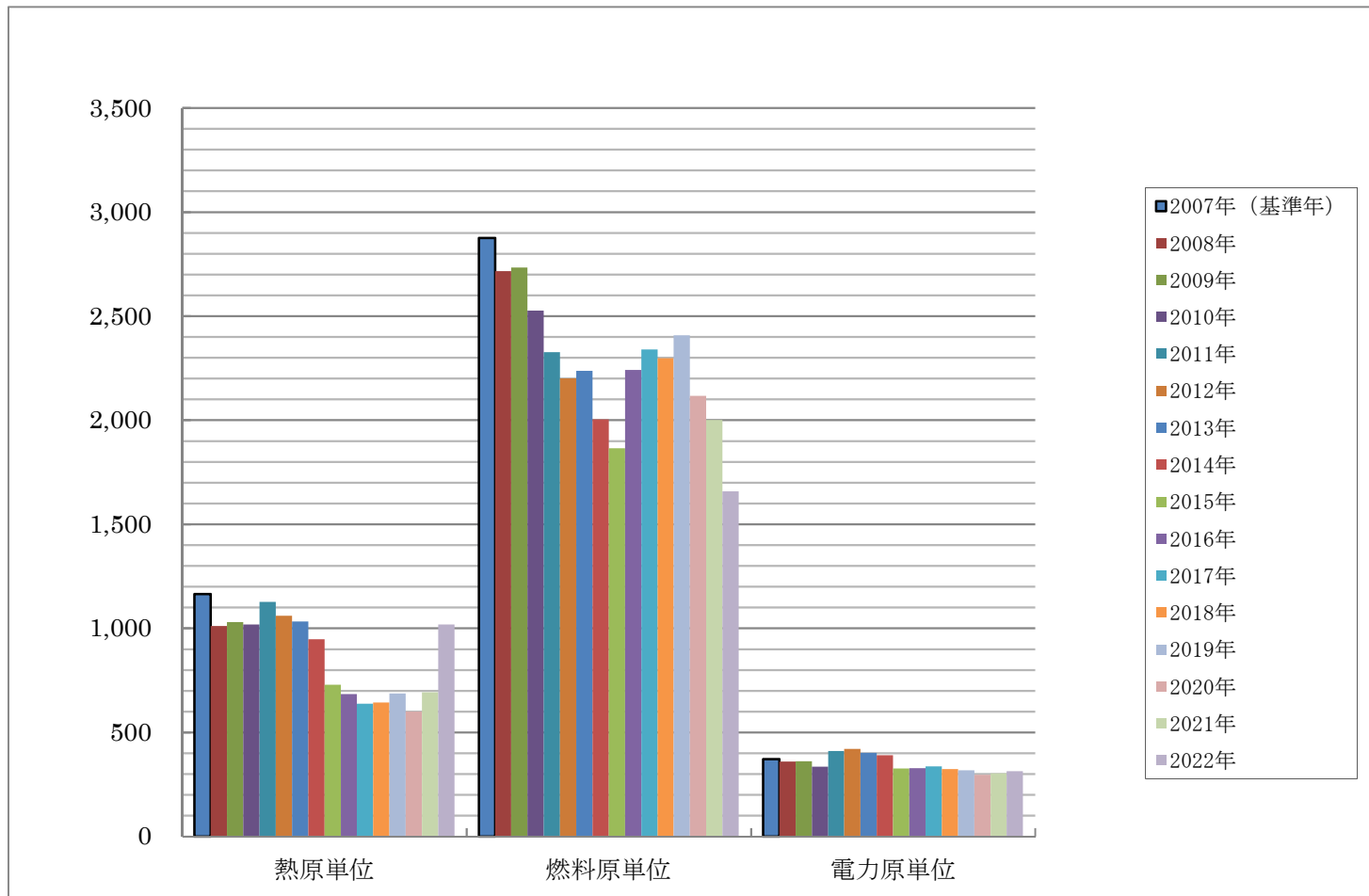
項目	2007 年 基準年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年
熱総量 (G J)	39,502	34,313	34,964	37,828	41,866	39,371	38,387	37,269	33,260	31,232
熱原単位 (MJ/m <sup>2</sup> )	1,164	1,011	1,030	1,018	1,127	1,060	1,033	947	728	683
燃料総量 (G J)	97,567	92,156	92,733	93,860	86,473	81,778	83,131	78,853	85,229	102,424
燃料原単位 (MJ/m <sup>2</sup> )	2,875	2,716	2,733	2,526	2,327	2,201	2,237	2,003	1,865	2,241
電力総量 (千 KWh)	12,586	12,202	12,247	12,457	15,226	15,599	14,953	15,362	14,900	15,002
電力原単位 (KWh/m <sup>2</sup> )	371	360	361	335	410	420	402	390	326	328

原単位の分母は総延床面積を使用しています。

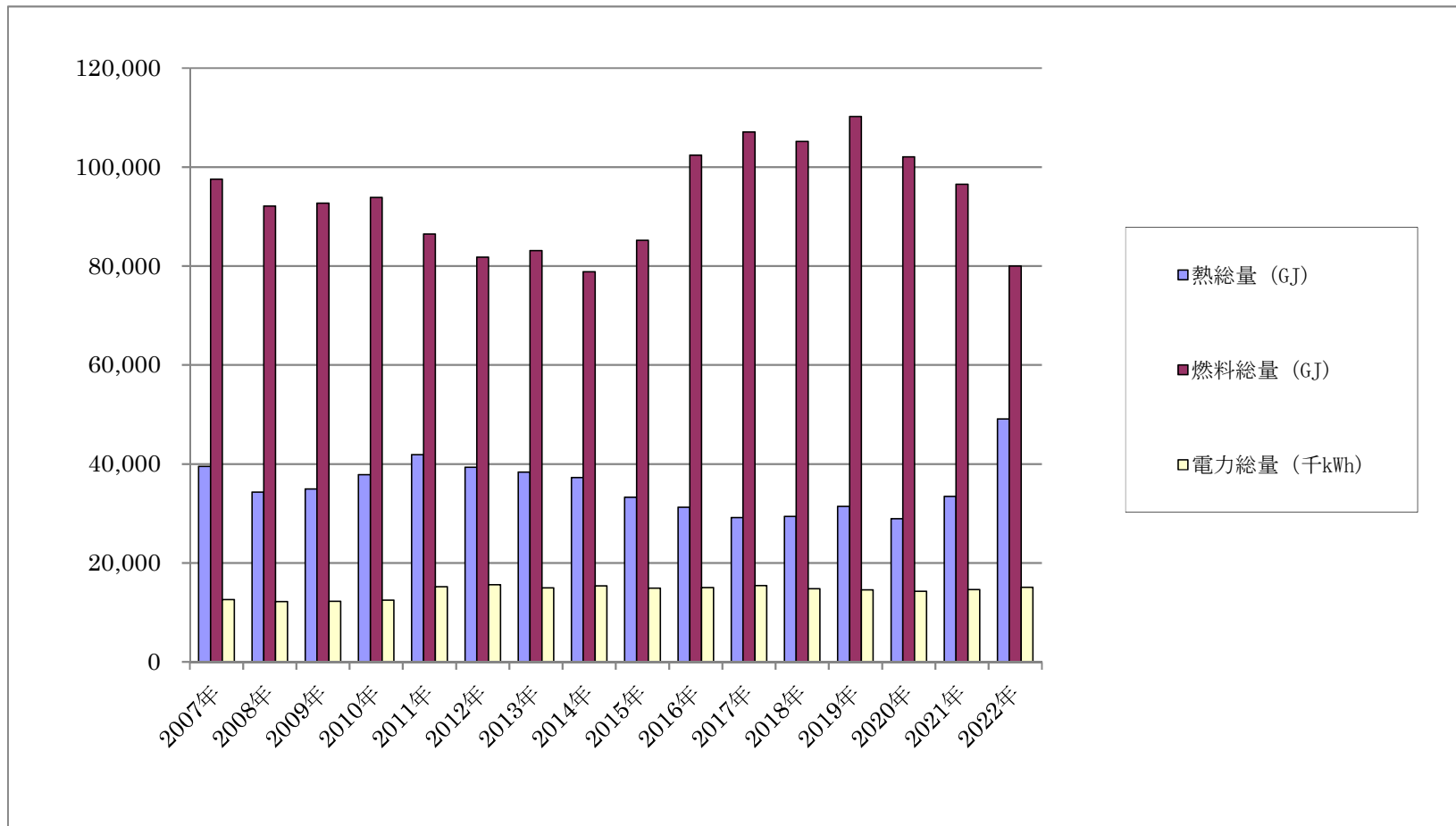
項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
熱総量 (GJ)	29,151	29,431	31,411	28,939	33,437	49,130				
熱原単位 (MJ/m <sup>2</sup> )	637	643	686	600	693	1,018				
燃料総量 (GJ)	107,096	105,185	110,205	102,105	96,525	80,010				
燃料原単位 (MJ/m <sup>2</sup> )	2,339	2,297	2,407	2,116	2,000	1,658				
電力総量 (千KWh)	15,414	14,815	14,560	14,273	14,632	15,998				
電力原単位 (KWh/m <sup>2</sup> )	337	324	318	296	303	331				

原単位の分母は総延床面積を使用しています。

熱源単位、燃料原単位、電力原単位の推移状況



熱総量、燃料総量、電力総量の推移状況





ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
大気汚染防止対策	窒素酸化物の年間総排出量の把握と排出量の削減	基準年に比較して排出量が増加しているが目標値の 1/2 を超えていません。	ボイラー機器などの適正な運用管理を徹底しています。
	煤煙の排出規制の遵守	燃料が都市ガス（13A）のため、煤煙測定結果が定量限界(0.005 g /Nm <sup>3</sup> )未満です。	ボイラー機器などの適正な運用管理を徹底しています。
水質汚濁防止対策	排出水の水質管理及び汚濁負荷の総量管理	測定結果は別途報告。 (添付資料参照)	定期的な水質検査を実施しています。
	富栄養化防止対策の推進（窒素・燐の排出量の削減）	測定結果は別途報告。 (添付資料参照)	定期的な水質検査を実施しています。
土壌汚染防止対策	土壌汚染の未然防止	建物移築等工事に於いて土壌汚染調査をしたところ土壌汚染は認められなかった。	排水管の健全状態を内視鏡などで確認しています。

当事業所は 2007 年度から環境保全について理解をし、環境負荷低減に対してどのような取り組みができるかを考えてきました。具体例としては高効率な空調機器への更新、照明設備の LED 化など省エネルギー機器への切り替えを始め、研究施設の効率的な運用維持に取り組んでいます。また職員による省エネ活動として、クールビズ、ウォームビズの励行、空調温度は政府推奨の夏場 28℃、冬場 19℃を意識した適正な温度設定を徹底する。また昼休み時のオフィス照明を消灯する。こんな小さな運動も引き続き行い、より一層の省エネルギー活動の取り組みを推進しています。

1つ1つの成果は小さい運動ですが、このように出来る事を実践し積み重ねて今後も環境保全に勤めます。

イ. 2022年度 排出水の汚濁状態測定結果-1

排水口名：神戸地区 西エリア 北系統									
項目	管理目標値 (神戸市排除 基準値)	測定値		全測定回数	目標値を超過した回数	目標値達成判定	法令基準達成判定		
		最大 (pHのみ 最小～最大)	平均						
人の健康に係る障害を生ずる恐れのある項目	1	カドミウム及びその化合物	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	2	シアン化合物	0.3 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	3	有機リン化合物(注)	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	4	鉛及びその化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	5	六価クロム化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	6	砒素及びその化合物	0.05 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	8	アルキル水銀化合物	検出されないこと	ND	ND	2	0	○	○
	9	ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	10	ジクロロメタン	0.2 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	11	四塩化炭素	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	12	1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	13	1,1-ジクロロエチレン	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	14	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	15	1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	16	1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	17	トリクロロエチレン	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	18	テトラクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	19	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	20	チウラム	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	21	シマジン	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	22	チオベンカルブ	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	23	ベンゼン	0.1 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	24	セレン及びその化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	25	ほう素及びその化合物	230 mg/L以下	0.4	0.23	12	0	○	○

る 生活環境に係る被害を生ずる恐れのある項目	26	ふっ素及びその化合物	15 mg/L 以下	ND	ND	2	0	○	○	
	27	1,4-ジオキサン	0.5mg/L 以下	ND	ND	2	0	○	○	
	28	フェノール類	5 mg/L 以下	ND	ND	2	0	○	○	
	29	銅及びその化合物	3 mg/L 以下	0.01	0.01	12	0	○	○	
	30	亜鉛及びその化合物	2 mg/L 以下	0.06	0.05	2	0	○	○	
	31	鉄及びその化合物(溶解性)	10 mg/L 以下	0.15	0.11	2	0	○	○	
	32	マンガン及びその化合物(溶解性)	10 mg/L 以下	0.01	0.01	2	0	○	○	
水道処理場に負荷をかける項目	33	クロム及びその化合物	2 mg/L 以下	ND	ND	2	0	○	○	
	34	水素イオン濃度 (pH)	5.0 を超え 9.0 未満	6.1~8.2	7.0	365	0	○	○	
	35	生物化学的酸素要求量(BOD)	2000 mg/L 以下	25	11.9	12	0	○	○	
	36	浮遊物質(S S)	2000 mg/L 以下	6.0	4.0	2	0	○	○	
	37	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	イ. 動植物油脂類含有量	150 mg/L 以下	9.0	3.5	12	0	○	○
			ロ. 鉱油類含有量	5 mg/L 以下	2.0	1.1	12	0	○	○
38	窒素含有量	1200 mg/L 以下	2.4	1.6	2	0	○	○		
39	燐含有量	160 mg/L 以下	0.56	0.47	2	0	○	○		
れ 施設を損傷する恐れのある項目	40	温度	45 度未満	30.0℃	20.4℃	365	0	○	○	
	41	沃素消費量	220 mg/L 未満	ND	ND	2	0	○	○	
備考										

単位は pH を除き、mg/l

ND : 定量下限値以下

○ 達成

× 未達成

イ. 2022 年度 排水水の汚濁状態測定結果-2

排水口名：神戸地区 西エリア 南系統									
項目	管理目標値 (神戸市排除 基準値)	測定値		全測定回数	回数 目標値を超過した	目標値達成判定	法令基準達成判定		
		最大 (pHのみ 最小~最大)	平均						
人の健康に係る障害を生ずる恐れのある項目	1	カドミウム及びその化合物	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	2	シアン化合物	0.3 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	3	有機リン化合物(注)	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	4	鉛及びその化合物	0.1 mg/L以下	0.01	0.01	2	0	○	○
	5	六価クロム化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	6	砒素及びその化合物	0.05 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	8	アルキル水銀化合物	検出されないこと	ND	ND	2	0	○	○
	9	ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	10	ジクロロメタン	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	11	四塩化炭素	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	12	1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	13	1,1-ジクロロエチレン	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	14	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	15	1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	16	1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	17	トリクロロエチレン	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	18	テトラクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	19	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	20	チウラム	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	21	シマジン	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	22	チオベンカルブ	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	23	ベンゼン	0.1 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	24	セレン及びその化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	25	ほう素及びその化合物	230 mg/L以下	0.2	0.15	12	0	○	○
	26	ふっ素及びその化合物	15 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○

る 生活環境に係る被害を生ずる恐れのある項目	27	1,4-ジオキサン	0.5mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
	28	フェノール類	5 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
	29	銅及びその化合物	3 mg/L以下	0.33	0.12	12	0	○	○	
	30	亜鉛及びその化合物	2 mg/L以下	0.08	0.08	2	0	○	○	
	31	鉄及びその化合物(溶解性)	10 mg/L以下	0.1	0.1	2	0	○	○	
	32	マンガン及びその化合物(溶解性)	10 mg/L以下	0.01	0.01	2	0	○	○	
	33	クロム及びその化合物	2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
水道処理場に負荷をかける項目	34	水素イオン濃度 (pH)	5.0 を超え 9.0 未満	—	—	—	—	—	—	
	35	生物化学的酸素要求量(BOD)	2000 mg/L以下	140	60.7	12	0	○	○	
	36	浮遊物質(SS)	2000 mg/L以下	19	16	2	0	○	○	
	37	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	イ. 動植物油脂類含有量	150 mg/L以下	12	3.6	12	0	○	○
			ロ. 鉱油類含有量	5 mg/L以下	1.1	0.8	12	0	○	○
	38	窒素含有量	1200 mg/L以下	3.6	3.0	2	0	○	○	
39	燐含有量	160 mg/L以下	1.1	0.84	2	0	○	○		
る 施設を損傷する恐れのある項目	40	温度	45 度未満	—	—	—	—	—	—	
	41	沃素消費量	220 mg/L 未満	26	14	2	0	○	○	
備考	発生・再生研究棟南系統排水は、神戸市立医療センター中央市民病院南館排水槽に合流後、水素イオン濃度 (pH) 及び温度管理を行っている。									

単位は pHを除き、mg/l

ND : 定量下限値以下

○ 達成      × 未達成

イ. 2022 年度 排水水の汚濁状態測定結果-3

排水口名：神戸 MIR&D センタービル									
項目	管理目標値 (神戸市排除 基準値)	測定値		全測定回数	目標値を超過した	目標値達成判定	法令基準達成判定		
		最大 (pHのみ 最小～最大)	平均						
人の健康に係る障害を生ずる恐れのある項目	1	カドミウム及びその化合物	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	2	シアン化合物	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	3	有機リン化合物(注)	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	4	鉛及びその化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	5	六価クロム化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	6	砒素及びその化合物	0.05 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	8	アルキル水銀化合物	検出されないこと	ND	ND	2	0	○	○
	9	ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	10	ジクロロメタン	0.2 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○
	11	四塩化炭素	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	12	1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	13	1,1-ジクロロエチレン	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	14	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	15	1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	16	1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	17	トリクロロエチレン	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	18	テトラクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	19	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	20	チウラム	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	21	シマジン	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	22	チオベンカルブ	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	23	ベンゼン	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	24	セレン及びその化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	25	ほう素及びその化合物	230 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	26	ふっ素及びその化合物	15 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○

る恐れのある項目 生活環境に係る被害を生ずる項目	27	1,4-ジオキサン	0.5mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
	28	フェノール類	5 mg/L以下	ND	ND	12	0	○	○	
	29	銅及びその化合物	3 mg/L以下	0.09	0.05	2	0	○	○	
	30	亜鉛及びその化合物	2 mg/L以下	0.11	0.07	2	0	○	○	
	31	鉄及びその化合物(溶解性)	10 mg/L以下	0.03	0.03	2	0	○	○	
	32	マンガン及びその化合物(溶解性)	10 mg/L以下	0.02	0.01	2	0	○	○	
	33	クロム及びその化合物	2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
水道処理場に負荷をかける項目	34	水素イオン濃度 (pH)	5.0 を超え 9.0 未満	5.8~7.8	6.7	12	0	○	○	
	35	生物化学的酸素要求量(BOD)	2000 mg/L以下	55	52.5	2	0	○	○	
	36	浮遊物質(SS)	2000 mg/L以下	40	26.5	2	0	○	○	
	37	ノルマルヘキサ ン抽出物質含有 量	イ. 動植物 油脂類含有 量	150 mg/L以下	1.9	1.9	2	0	○	○
			ロ. 鉱油類 含有量	5 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	38	窒素含有量	1200 mg/L以下	48	25.6	2	0	○	○	
39	燐含有量	160 mg/L以下	7.7	4.4	2	0	○	○		
れのある項目 施設を損傷する恐れ	40	温度	45 度未満	-	-	-	-	-	-	
	41	沃素消費量	220 mg/L 未満	7	3.5	2	0	○	○	
備考										

単位は pHを除き、mg/l

ND : 定量下限値以下

○ 達成            × 未達成

イ. 2022 年度 排水水の汚濁状態測定結果-4

排水口名：融合連携イノベーション推進棟									
項目	管理目標値 (神戸市排除 基準値)	測定値		全測定回数	回数 目標値を超過した	目標値達成判定	法令基準達成判定		
		最大 (pHのみ 最小～最大)	平均						
人の健康に係る障害を生ずる恐れのある項目	1	カドミウム及びその化合物	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	2	シアン化合物	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	3	有機リン化合物(注)	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	4	鉛及びその化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	5	六価クロム化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	6	砒素及びその化合物	0.05 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	8	アルキル水銀化合物	検出されないこと	ND	ND	2	0	○	○
	9	ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	10	ジクロロメタン	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	11	四塩化炭素	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	12	1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	13	1,1-ジクロロエチレン	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	14	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	15	1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	16	1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	17	トリクロロエチレン	0.3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	18	テトラクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	19	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	20	チウラム	0.06 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	21	シマジン	0.03 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	22	チオベンカルブ	0.2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	23	ベンゼン	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	24	セレン及びその化合物	0.1 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	25	ほう素及びその化合物	230 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	26	ふっ素及びその化合物	15 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○



る生活環境に係る被害を生ずる恐れのある項目	27	1,4-ジオキサン	0.5mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
	28	フェノール類	5 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
	29	銅及びその化合物	3 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
	30	亜鉛及びその化合物	2 mg/L以下	0.53	0.30	2	0	○	○	
	31	鉄及びその化合物(溶解性)	10 mg/L以下	0.04	0.04	2	0	○	○	
	32	マンガン及びその化合物(溶解性)	10 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
	33	クロム及びその化合物	2 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○	
水道処理場に負荷をかける項目	34	水素イオン濃度 (pH)	5.0 を超え 9.0 未満	-	-	-	-	-	-	
	35	生物化学的酸素要求量(BOD)	2000 mg/L以下	4.0	3.9	2	0	○	○	
	36	浮遊物質(SS)	2000 mg/L以下	1.0	0.5	2	0	○	○	
	37	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	イ. 動植物油脂類含有量	150 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
			ロ. 鉱油類含有量	5 mg/L以下	ND	ND	2	0	○	○
	38	窒素含有量	1200 mg/L以下	0.7	0.65	2	0	○	○	
39	燐含有量	160 mg/L以下	0.58	0.32	2	0	○	○		
施設を損傷する恐れのある項目	40	温度	45 度未満	-	-	-	-	-	-	
	41	沃素消費量	220 mg/L 未満	ND	ND	2	0	○	○	
備考										

単位は pHを除き、mg/l

ND : 定量下限値以下

○ 達成      × 未達成